

## 市長記者会見記録

日時：2015年12月22日（火）午後2時～午後2時18分

場所：本庁舎2階 講堂

議題：平成27年（2015）年川崎市10大ニュースについて（総合企画局）

### <内容>

#### （平成27年（2015）年川崎市10大ニュースについて）

司会： ただいまより、市長記者会見を始めさせていただきます。

本日の議題は、平成27年川崎市10大ニュースとなっております。

それでは、平成27年川崎市10大ニュースを発表いたします。

市長、よろしくお願いいたします。

市長： よろしくお願ひします。

それでは、平成27年の年末に当たりまして、川崎市10大ニュースが決定いたしましたので、発表させていただきます。

10大ニュースは、1年を振り返り、市民の視点から市政や市全般にわたる動きをどのように捉えられているかを把握し、今後の市政運営の参考とするとともに、市の取組や魅力ある資源を発信することで、市のイメージアップを図ることを目的として、毎年実施しております。

ニュースの決定方法ですが、今年、川崎市で起きたニュースの中からあらかじめお示しした43のニュースを対象に投票いただき、投票数の多い順に1番から10番までを10大ニュースとして決定いたしました。

投票状況につきましては、お手元に配布しております資料1ページにお示ししておりますように、今年の投票者数は1,935人でございます。

投票結果でございますが、資料の2ページをご覧ください。第1位は、1,221票で、「川崎区の多摩川河川敷で中学生死亡事件が起きる」となりました。以下、第2位は、「さいか屋川崎店が閉店」、第3位は、「川崎区日進町の簡易宿所で火災が発生」、第4位は、「大久保嘉人選手 史上初Jリーグ3年連続の得点王に輝く」、第5位は、「川崎アゼリアがリニューアルオープン」、このような結果となりました。

以下、20位までのニュースは、資料のとおりでございます。

投票結果の感想といたしましては、まず、第1位となりました「川崎区の多摩川河川敷で中学生死亡事件が起こる」についてでございますけれども、このニュースが1

位となった意味は、市民の皆様にとって、この事件を決して忘れてはならないという思いが強く反映された結果であると考えております。市としても、事件後、すぐに全庁的な庁内対策会議を設置し、検討を重ね、最終報告書を8月25日に公表いたしました。このような痛ましい事件が2度と繰り返されることのないように、再発防止に向けた取組を強化してまいります。

第2位の「さいか屋川崎店閉店」につきましては、長年にわたり川崎駅の顔として多くの方々に親しまれてきた、さいか屋川崎店の閉店は、私も寂しいものがございます。市民の皆様も同様に感じておられるのではないかと、こういったことが2位という順位を示しているのではないのでしょうか。跡地利用については、川崎駅周辺地区全体の将来のあり方などについて必要な検討を行い、にぎわいと魅力あるまちづくりを推進してまいります。

第3位の「川崎区日進町の簡易宿所で火災が発生」につきましては、簡易宿所2棟が全焼して、多くの死傷者が出るという大変痛ましい事件が起きました。市では、関係部署の連携により、必要な行政指導などの対策を打ってきたところですが、今後も市民の安全性確保に向けた取組を着実に実施し、安心して暮らすことができるまちづくりを進めてまいります。

第4位には、「大久保嘉人選手 史上初Jリーグ3年連続の得点王に輝く」がランクインいたしました。私も川崎フロンターレのホーム最終戦を観戦し、大久保選手のゴールを見ることができました。ゴールを狙う気迫、得点感覚の鋭さ、そして、チームを牽引していく姿は、大変頼もしいものがございました。来年もぜひ得点王を目指していただきたいと思っています。

なお、川崎フロンターレに関連して、富士通スタジアム川崎、等々力陸上競技場のリニューアルについても第7位にランクインしております。来年こそ、川崎フロンターレにも頑張ってもらいたいと思っています。

第5位には、「川崎アゼリアがリニューアルオープン」が入りました。リニューアル第1弾としてオープンした食品スーパーや生鮮食品店、惣菜店などを備えた大規模食物販ゾーン「DERICHKA」は、主婦や通勤帰りなどの多くの買い物客でにぎわいを見せております。来年3月には、飲食ゾーン、それから、ファッション・アンド・利便ゾーンの開業が予定されており、ますます多くの方が利用され、さらににぎわいを見せることになると思います。

全体の感想といたしましては、今年は、中学生死亡事件や簡易宿所の火災など、本市にとって大変悲しいニュースが相次いで起こった年となりました。決して忘れては

いけないと思います。悲しい出来事が起きた、この1年をしっかりと受けとめ、次につなげていくことが重要であります。再発防止策の取組を着実に進め、安全・安心なまちを構築してまいります。

一方、大久保選手がJリーグ史上初の3年連続得点王になったことをはじめ、NECレッドロケッツがプレミアムリーグで10シーズンぶりに優勝するなど、スポーツで輝いた年でもございました。また、「カワサキハロウィン」も上位に入っておりますけれども、市民の気持ちが1つになって盛り上がっていることは大変素晴らしいことだと思っておりますし、川崎への愛着があらわれているということではないかと思えます。

さいか屋の閉店の一方で、アゼリアのリニューアルや、小田栄新駅の決定など、まちの姿も変化する時期に差ししかかっているのかもしれませんが。この変化をチャンスと捉えて、的確に市政のかじ取りをしてまいります。

10大ニュースの発表は以上ですが、来年、市民の皆様にとって明るい話題の多い、よき1年となることを願っております。

私からは以上です。

**司会：** ありがとうございます。

それでは、質疑応答に入らせていただきます。

進行は幹事社さん、よろしくお願ひします。

**幹事社：** じゃ、幹事社のほうから、この10大ニュースに関してですけれども、市長をはじめ市のほうで懸命に取り組んで待機児童ゼロというのを達成したと思うんですけれども、一応9位に入っているんですが、この辺はどうですか。受けとめとしては、9位ぐらいに入って、そのくらいなのかな、妥当なのか、またはもっと浸透していてもよかったかなと、いろいろな受けとめがあると思うんですけれども、市長としてはどんなふうにとめられたのか。

**市長：** 私はじめ職員一丸となって取り組んで成果を出したものですから、もう少し評価されてもよかったのではないかと個人的には思いますけれども、市民の受けとめとして、受けとめさせていただきました。

**幹事社：** これは、そろそろ来年の春も近いんですけれども、この待機児童に関してはどうでしょう。見通しとしては、継続を目指していらっしゃると思うんですが。

**市長：** そうですね。引き続きゼロを目指して最後まで頑張りたいと思っています。

**幹事社：** わかりました。じゃ、各社、どうぞ。

**記者：** すいません。個人的には、高齢者施設からの転落死だとか、聖マリアンナ医

大の不正問題だとか、こういったことが市議会でも、ニュースでもいっぱい論じられたと思うんですけども、こういうものが入っていないというのは、項目にそもそも候補に入っていないのですけれども、どういうふうにお考えになりますでしょうか。

**市長：** 何についてですか。項目に入っていないことについてですか。

**記者：** そうじゃなくて、そういうものが10位に入っていなかったということについては。

**市長：** いや、特に。それぞれに市民の受けとめであると思いますので。

**記者：** 市民の受けとめ、そんなに、じゃ、高齢者施設からの転落だとか、あまり市民にインパクトがなかったということなんですか。

**市長：** いや、そんなことは思っていないんですけど、特に私にとっては大変大きな事件、事故だったと思いますし、それは大変重要なことだと思っていますが、10大ニュースの中には、市民の受けとめとして、そうではなかったのかもしれないね。

**記者：** わかりました。あと、ベストテンというか、上位10位の中で、大久保選手の話だとか、それから、待機児童がゼロだとか、人口の話は抜かすとして、あと7つ、等々力も含めてですけども、7つが市の南部とされる地域で起きたことなんですけれども、何でこんなに偏りが起きているのかなというのがちょっと不思議で、私は、前に市長にお話ししたことがあると思いますけれども、横浜の北部で、川崎の北部と近いところでずっと過ごしたもので、2位のさいか屋川崎店が閉店というのがこんなに関心が高いというのがちょっと意外な感じがするんですけども、南部に偏った理由は何か、市長としては思われるところはありますか。

**市長：** 毎年、それぞれの年によって違うと思うんですが、平成24年はドラえものの藤子・F・不二雄ミュージアムが1位と、あるいはプラネタリウムを導入した「かわさき宙と緑の科学館」がオープンといった、施設がオープンすると、そこには注目が高まるのだと思います。そういった意味で、さいか屋の話も、閉店という残念なニュースでありましたけれども、非常にインパクトのある話だった。あるいは富士通スタジアムのリニューアルとか、あるいはアゼリアリニューアルとか、こういったものは、やはり新しいものがオープンすると、そこに期待感も含めて票が集まるのではないかなと個人的には思っております。

**記者：** わかりました。

**記者：** すみません。ここに入っていないことにも、ちょっとお伺いしたかったんですけど、聖マリアンナとか、転落死の関係は入ってないですけど、それ以外に何か、市長にとって、これが入ってもよかったんじゃないかなという項目はありますか。

**市長：** それは10位以下に……。

**記者：** 今年、10位以内に。

**市長：** どれが入るべきなのか、先ほど申し上げたとおり、ちょっと私の感覚とも大分違う部分もありますので、先ほど申し上げたとおり、今年1年、記者会見をこうやって皆様とご一緒させていただいて、1年間通して思ったのは、やはり悲しい事件だとか、本当にあってはならないような事件、事故が多かった年で、そういう意味では、私の1年間のこの記者会見の印象というのは、常に笑うことはなかったというのが1年の総括なのかなと思っていますので、そういった意味で、市民の捉え方とすれば、暗いニュースもあったけれども、スポーツをはじめとして明るいニュースも選んでいただいたというのは、私にとってはちょっとほっとしたということではあります。

**記者：** わかりました。

**記者：** すみません。ちょっとまた繰り返しになっちゃうんですが、その老人ホームでの転落死が43個の中に入っていない。入っていなくても、投票はできるということではあったかとは思いますが、最初にこういうふうにかなり多くの例示を出されてしまうと、多くの方はそこから選ぶのかなと思うんですけども、秋ぐらいに起きたニュースでもありますし、これを候補に入れないというのは、どういう判断のもとで入れられなかったんでしょうか。ちょっと普通に考えれば、3人も同じところで亡くなっている非常に大きな問題ですので、入るのが自然かなと思うんですが、どういう判断のもとで入らなかったんでしょうか。

**市長：** どういうふうに、これ、43個を選んだのかというのを、ちょっと事務方のほうから説明してもらっていいですか。

**企画調整課長：** 企画調整課長です。この老人ホームの関係でございますけれども、このニュースのエントリーに当たって、事件なのか、事故なのかとか、そのあたりが少し不明瞭だった状況がございまして、こちらの一覧には挙げておりませんが、自由記載という形でご意見もいただいておりますので、そういう対応にしようという形で、こちらの案件については対応させていただきました。

以上でございます。

**記者：** しかし、市として、かなり珍しいレアケースとして処分まで出されているわけですね。市長の判断……。

**市長：** 処分を出したのが、決定したのといっても、この数日の話でありますので、ちょっと申し上げたとおり、少しどっちになるのかというのがやや不確定だったというところがそういう判断だったということでございます。

**記者：** 全然今のこの関連で、全くこれはそんなに大きな事件じゃなかったかもしれないですけども、市長は重く受けとめられているというご発言をなさっていたので、事件か、事故じゃないから載せなかったというならば、例えば2月の上村君事件の前には、官製談合事件があつて、何十年ぶりかに市役所に家宅捜査が入って、職員が逮捕されるという非常に残念な事件もあつて、庁内では対策会議が立ち上がつてというようなこともありましたけれども、やっぱりそれも入っていないで、それに加えて、うん？ これが候補に入るのかというようなものもあつたんですが、やっぱりちょっと判断基準がわからなくて、それはなぜなのでしょう。

**市長：** ちょっとどれを入れて、どれを入れないのかというのが、すみません、私が直接これを入れるとか、入れないとかやっているものではありませんので、ただ、非常に大きな、今年、年始はまさにそれで始まつた、大変重要な大きな事件だと思つていますし、非常に重く受けとめております。

**記者：** 市長を全然責めるわけでは全くなくて、今、企画調整課長さん、事件なのか、事故なのか不明瞭だったので入れなかったというようなお話だったので、明確に事件だとわかつたものについては入れてもよかつたのかなと思つたんですが、市長、常々おっしゃるように、いいところも悪いところも含めて皆さんにオープンにして、判断してもらつてというご姿勢が市長のご姿勢なんで、ちょっとそういうところが候補に入つていなかったのが残念だなという気がしたんです。

**市長：** 受けとめさせていただきます。

**司会：** ほかはいかがでしょうか。

**市長：** どうも1年、ありがとうございます。今年は、これが最後ですか。

**司会：** ええ。これで最後の会見になります。

**記者：** いいですか。

**市長：** どうぞ。

**記者：** この前の会見ではっきり出なかつたような気がしたんですが、今年の1年をあらわすと漢字1字で。いろいろな首長さんに、もう決まりで聞いているので、ぜひお願いします。

**市長：** 一応、私も考えてきました。この前、安全と安心の「安」なのかというような話もありましたが、総理や今年の漢字の1字が「安」となつていて、後で見てびっくりしましたが、あえて今の質疑のところではないですが、非常に人の命という意味では、子どもも高齢者も命について考えさせられる大変大きな事件、事故がいっぱいあつたのでそういう意味では、一言で1字であらわすと「命」かなと思つています。

記者： わかりました。

司会： よろしいですか。

それでは、以上をもちまして、市長会見のほうを終了させていただきます。どうもありがとうございました。

市長： どうもありがとうございました。

(以上)

---

この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理したうえで掲載しています。

(お問い合わせ) 川崎市役所総務局秘書部報道担当

電話番号：044(200)2355